

第 2 期地方創生総合戦略の策定について（案）

現行の豊岡市地方創生総合戦略に基づく課題に対応し、2040 年の展望が示す将来像の実現に向けた第 2 期地方創生総合戦略を策定し、切れ目のない取組みを進める。

1 現総合戦略の基本的な考え方

人口減少のスピードを極力和らげるとともに、その対策を通じて、なお進む人口減少化にあっても地域活力を維持する。

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特にこれまで進めてきた「小さな世界都市」＝「豊岡で世界と出会う」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) あわせて「多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者」を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りをもって住む人々からなるまちとして豊岡を蘇らせ、地域活力の維持を図る。

2 計画期間

2020 年度～2024 年度（5 年間）

3 検討すべきキーワード

(1) ジェンダーギャップ解消

女性の若者回復率、ワークイノベーション、子育て中の女性の就労促進、若者・女性のまちづくりへの参加 等

(2) 演劇のまちづくり

専門職大学の誘致、アーティストクリエイター移住等促進、アーティスト・イン・レジデンス、豊岡演劇祭、ローカル&グローバルコミュニケーション教育 等

(3) その他

結婚支援、多子出産応援、関係人口、外国人住民、短期的な成果につながる取組、子どもたちの社会参加（社会の一員としての役割） 等

4 目標（現行数値を継続）

- (1) 総人口目標 62,165 人（2040 年時点）
- (2) 政策目標 1 2035 年までに出生率を 2.3 に引き上げる
（結婚支援・多子出産応援）

- (3) 政策目標 2 2025年までに若者回復率を50%に引き上げる（移住・定住促進）
※豊岡市人口ビジョンでの定義

5 戦略体系と指標
新たに検討

6 策定スケジュール

- 6月10日 第1回地方創生戦略会議→次期戦略策定の方向性
6月上旬 庁内ワークショップ→戦略体系図の素案協議（以降随時開催）
9月下旬 第2回地方創生戦略会議→戦略体系図協議
11月上旬 第3回地方創生戦略会議→第2期地方創生総合戦略（案）策定
2月上旬 第2期地方創生総合戦略策定

7 参考

- (1) 豊岡市人口ビジョン平成27（2015）年10月30日策定
推計期間と推計方法

「本市の人口減少対策期間を2015年～2040年とし、政策目標を向こう25年間に
対して立てる。その効果を可能な限り各年度、中期計画期間において検証すること
に加えて、基準推計（政策的努力無しの現状維持シナリオ）に対する長期的な政策効果
を2040年、2060年の時点で測ることとする。このため本市は、直近で最新の国勢調
査データが得られる2010年を基準年とし、推計期間を2060年とする」

- (2) 国の動向

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定→2019年12月閣議決定予定
計画期間 2020年度～2024年度

視点 人材育成・関係人口、稼げるしごとと働き方、未来技術、少子化対策・
全世代活躍まちづくり等

- (3) 県の動向

第2期「兵庫県地域創生計画」策定予定

計画期間 2020年度～2024年度

方向性 地域の元気づくり（多様な地域性に応じた指標の設定）
人口減少対策（関係人口、交流人口、若者層の流出防止策強化）